

	<p style="text-align: center;"><b>保育科 教授</b></p> <p style="text-align: center;"><b>山内 淳子 (やまうち じゅんこ)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Yamauchi Junko</b></p>
<p>自己紹介 (プロフィール)</p>	<p>附属幼稚園の園長もしています。かわいい園児たちには、いつも癒しと元気をもらっています。保育実践、保育研究、保育者養成の3つを意味あるかたちで関連させながら、それぞれを高めていきたいと思っています。</p>
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>学生さんとおしゃべりしたり、ふざけて笑い合ったりするのが大好きです。ひとりでも多くの学生さんの顔とお名前を覚えたいと思っています。キャンパスで見かけたら、「名前わかりますか?」と声をかけ、テストしてください。答えられないときは、優しく教えてくださいね。</p>
<p>保有学位</p>	<p>修士 (教育学) 慶應義塾大学</p>
<p>保有資格・免許</p>	<p>中学校教諭一種免許状 外国語 (英語) 高等学校教諭一種免許状 外国語 (英語)</p>
<p>研究分野</p>	<p>保育学</p>
<p>現在の研究テーマ</p>	<p>幼児教育における評価に関する研究</p>
<p>主な担当科目</p>	<p>保育内容 人間関係 保育研究 (人間関係) &lt;専&gt; 教育学特論&lt;専&gt;</p>
<p>学内での活動</p>	<p>自己点検評価委員会委員 自立支援委員会委員</p>
<p>学外での活動</p>	<p>山梨学院大学附属幼稚園園長 (H22~) 山梨県福祉サービス評価推進機構 評価研究専門委員会委員 (H17~) 山梨県幼稚園教育研究協議会 副会長・講師 (H21~)</p>
<p>所属学会</p>	<p>日本保育学会、日本教育学会、日本教育心理学会、教育哲学会</p>

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(委員会委員) 山梨県福祉サービス評価推進機構 評価研究専門委員会委員 (単独)	H17～	福祉サービス第三者評価事業の推進を目的とした「山梨県福祉サービス評価推進機構」における「評価・研究専門委員会」の委員をつとめている。保育所を含む福祉施設の第三者評価を行う評価調査者の養成研修の進め方について検討しつつ、それを実施している。講師も多数回つとめてきた。(山梨県福祉サービス評価推進機構主催、於：山梨県福祉プラザ)
(教員研修会) 山梨県幼児教育研究協議会 副会長・講師 (単独)	H21～	山梨県における幼稚園教育の振興・充実の目的とした「山梨県幼稚園教育研究協議会」の副会長・講師をつとめている。毎年度数回開催される研究協議会において、幼稚園教諭とともに、「協同の遊び」「食育」「子育て支援」などのテーマのもと、事例研究を行っている。(山梨県・山梨県教育委員会主催、於：山梨県立青少年センター)
(教員研修会) 第3回シリウス保育講座 自己評価ははじめの一歩 (共同)	H21.2	山梨県内の保育士、幼稚園教諭、保育行政関係者等を対象に、研修会を行った。保育所保育指針の改定により義務化された保育所・保育士の自己評価の進め方について、保育所保育指針、同解説、厚生労働省「保育所における自己評価のガイドライン」等をもとに、具体的に提言した。(山梨学院生涯学習センター主催、於：山梨学院メモリアルホール)
(教員研修会) 第4回シリウス保育講座 様々な実践例からみる自己評価の実際と課題 -自己評価のミニ体験も交えて- (共同)	H21.8	山梨県内の保育士、幼稚園教諭、保育行政関係者等を対象に、研修会を行った。保育所保育指針の改定により義務化された保育所・保育士の自己評価について、様々な実践例を紹介しつつ、その課題と、それらに向けた方策を具体的に提示した。(山梨学院生涯学習センター主催、於：山梨学院メモリアルホール)

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
「教育」を問う教育学 -教育への視点とアプローチ- (共著)	H18.3	慶應義塾大学出版会	「見えない学力を可視化するー『プロジェクト・スペクトラム』の評価実践」の執筆を担当した。ハワード・ガードナーらによる「プロジェクト・スペクトラム」の試みが、「見える学力」と「見えない学力」との間で揺れる今日の日本の教育議論に与える意味について考察した。(第2部9章担当)
子育て支援 (共著)	H19.10	大学図書出版	「子育て支援の技術と工夫」「幼稚園の実践 ～『アルテア子ども館』の子育て支援実践～」の執筆を担当した。前者では、子育て支援を担う保育者に求められる専門性は何か、ひとりひとりの保護者に寄り添い支えていく力とは何かについて論じた。後者では、幼稚園付設の子育て支援センターの実践について詳しく紹介した。
「保育所児童保育要録」の様式に関する研究 (共著)	H22.3	保育士養成研究第28号(社団法人全国保育士養成協議会編)	保育所保育指針の改定により、児童の就学に際し、保育所が就学先の小学校に送付することが義務づけられた、「保育所児童保育要録」の様式について検討した。調査A「『保育要録』の様式に関する全国調査」、調査B「有用な保育要録の様式作成に向けての検討」の2つを通して、様式作成に関する全国的な動向をつかむとともに、有用な様式について提案を試みた。
子どもの育ちをとらえる評価視点に関する予備的考察 -「プロジェクト・スペクトラム」を手がかりとして- (共著)	H23	「幼年教育研究年報」第33巻(広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設編)	日本のA幼稚園を一事例として取り上げ、同園の幼稚園幼児指導要録における保育者の記述の中から「子どもの育ちをとらえる評価視点」を抽出し、「プロジェクト・スペクトラム」の評価視点と対比させることを通して、その特徴について考察した。本研究で試みたような評価視点の抽出・明確化、および、他の評価視点との対比による評価視点の整理・相対化は、保育者・園の自己評価、PDCAにとって意味あるものであると論じた。